

シカ生息域における法面緑化対策として、 **バイオ・オーガニック・ディア工法** (客土注入マット工)をご提案します。

●シカが増えています

農業被害、林業被害、生態系被害、交通事故が大きな問題となっています。

●外来牧草はシカが好む植物です

外来牧草による法面緑化・・・シカの餌場になっていませんか？

●法面におけるシカ被害

シカが採食のために法面を登攀すると植生が衰退し植生基盤材が踏み荒らされ裸地化します。

採食 ⇒ 裸地化 ⇒ 浸食 ⇒ 落石



法面緑化工におけるシカ対策の基本的な考え方

①シカが好む植物を導入しない

外来牧草の嗜好性植物が多いです。まず、シカの嗜好性植物の導入を控えることが重要です。

②法面にシカが侵入し踏み荒らされても浸食しない工法

植生基材は容易に踏み荒らされ、吹付けた生育基盤材は浸食します。

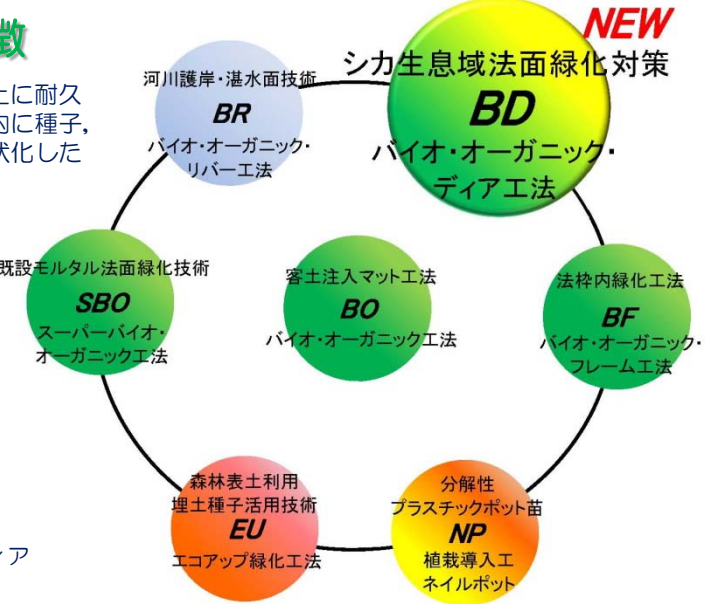
③地域に自生している不嗜好性植物〔地域性植物〕をうまく利用

NEW

バイオ・オーガニックシリーズの特徴

バイオ・オーガニックシリーズ（客土注入マット工）は、法面上に耐久性のある袋状マット(ソウケンフォーム)を布設し、袋状 マット内に種子、水、植生基盤材(ソウケンオーガ、オーガニック用土)を混合・泥状化したものをポンプで圧送注入する法面緑化工法です。

- 浸食の心配は一切ありません
袋状マットに注入された植生基盤材は、マット内にあるので浸食を受けず、また重さのある連続した面として法面を守ります。
- 厳しい緑化条件に対応
積雪寒冷地、急勾配法面、コンクリート吹付法面、河川護岸、ダム湛水面など、浸食作用の著しい条件でも緑化可能です。
- 自然回復緑化に適合
早期の緑化が期待できない森林表土利用工、自然侵入促進工などのスローライフな緑化が得意です。
- シカ被害対策法面緑化工としてバージョンアップ
上記の特徴を生かし、さらに改良を重ねバイオ・オーガニック・ディア工法を開発しました。



バイオ・オーガニック・ディア工法の優れた効果

- ①シカが登攀しても生育基盤が浸食しない
ソウケンフォームBDタイプは、これまでのBOタイプよりさらに強度を高めた（引張り強さ1.2倍）ことから、シカの登攀・踏み荒らしにも耐え、マットが確実に植生基盤を守り、法面の浸食防止効果を発揮します。
- ②早期緑化せずに浸食防止機能を長期間維持する
ソウケンフォームBDタイプに注入された植生基盤材はマット内にあるので、浸食防止のため早期緑化に必要な外来牧草を大量に導入する（シカの嗜好性植物が多い＝シカの餌場づくり）必要はありません。
- ③施工時はもちろん施工後もシカの不嗜好性植物を導入することが可能
シカが採食のため寄り付かないように道路法面を不嗜好性植物で緑化することがシカと車との衝突事故抑制に有効な対策の一つとして期待されていますが、バイオ・オーガニック・ディア工法は施工後でも播種・植栽の導入が可能です。

斜面・法面緑化工におけるシカ被害対策工の比較検討

		植生基材吹付工 (無対策)	客土注入マット工による対策 (植生基材注入工)	侵入防止柵による対策
対策工	概要	一般的な有機質系厚層基材吹付工。播種植物は、外来草本、在来草本および低木類など市販種子を配合する。	袋状の注入マットを法面に敷設しアンカーピンで固定したのち、注入マット内に生育基盤材を注入する工法。	保護対象の外周に侵入防止柵を設置する工法。侵入防止柵には、金網、ネット、電気柵などがある。
	イメージ写真			
	工法例	一般の市場単面方式による植生基材吹付工法	バイオ・オーガニック・ディア工法（日本特殊緑化協会）	多種多様な柵が販売されている
保護効果の考え方	地表面保護（浸食防止）	△ 採食による裸地化および登攀による踏み荒らしにより浸食が進行する。	◎ 採食による裸地化および登攀による踏み荒らしを受けるが、生育基盤は袋状マット内にあり浸食は生じない。	◎ 健全な植物群落が成立している場合には浸食は発生しない。
比較検討	草本の生育	× 嗜好性植物の生育は期待出来ない。植生基盤の浸食に伴い不嗜好性植物も生育不可。	△ 嗜好性植物の生育は期待出来ないが、植生基盤の浸食の危険性は無く不嗜好性植物は生育が可能。	◎ 採食被害を受けない
	浸食防止	△ 浸食の危険性が高い。	◎ 浸食防止機能は維持する	◎ 植物が成立している場合は浸食の危険性はない
	維持管理	× 浸食に伴う清掃、再緑化の危険性あり。	◎ 長期的に生育基盤は安定しており、再施工の危険性は無い。	× 維持管理が必須。1箇所でも侵入可能な箇所があると一切の効果を失う。
総合評価	× シカの餌場となり、浸食の危険性が高い。	◎ シカの採食を受けるが浸食は防止する。	× 侵入防止柵は維持管理が無ければ長期的な効果は期待できない。	

日本特殊緑化協会 Japan Special Revegetation Association

事務局
〒062-0032 札幌市豊平区西岡2条12丁目2番15号
TEL (011) 584-3016 FAX (011) 584-3030
URL <http://www.jsra-web.com/>

